

## ■4月から前山・竹田小学校が統合して竹山小学校が開校

150年の歴史に感謝を込めて

### 前山・竹田小学校で閉校式典

3月23日、前山小学校と竹田小学校で閉校式が行われました。児童や保護者、卒業生らが学び舎に感謝を伝え、150年の歴史に幕を下ろしました。式典後には地域住民の皆さんによる企画の記念イベントも開かれ、歌や踊りのステージなどが終幕を飾りました。

校舎も役目を終えることとなった前山小学校では、児童による「ふるさと学習」の成果発表で式典がはじまり、地域の歴史や文化を学んだ思い出を写真とともに振り返りました。閉校式後には、前山小学校では音楽ステージのほか、マジックショーが行われ、フィナーレには約1,000発の花火が上がり、夜空に花を咲かせて閉校記念イベントを締めくくりました。

竹田小学校では、閉校式で児童たちが学校への感謝を詰め込んだ群読を披露しました。

また、式典後には児童によるクイズ大会や卒業生バンドによる音楽ステージが行われ、最後の風船飛ばしでは、200個の風船が校舎を彩りました。



(竹田小学校) 卒業生バンドと一緒にステージで歌う児童



(前山小学校) クラッカーを鳴らしてステージを盛り上げる PTA会員や児童

### 竹山小学校で 開校式・入学式を開催

4月8日、竹山小学校で開校式が行われました。式典は同小体育館で行われ、新1年生を除く児童とその保護者、地域住民ら150人以上が参加し、新しい学校の門出を祝いました。

児童代表2人のあいさつでは「竹田小、前山小の両方の良さが生きた新たな伝統を、竹山っ子の力で築いていきます」「『失敗OK』を合言葉に、いろんなことに挑戦して、竹山小学校をつくり上げていきましょう」と意気込みを話しました。最後に2人で声をそろえ、「みんなで楽しい竹山小学校をつくっていきましょう」と呼び掛けました。

式典では校旗が授与されたほか、新しい校歌を歌い、学校の歴史をスタートさせました。

翌9日には入学式が行われ、竹山小学校として最初の新1年生23人が入学。

足立和宏校長は「みんなが主人公となって活躍できる学校をめざします。力を合わせて頑張りましょう」と力強くエールを送りました。



片山教育長から校旗を受け取る足立和宏校長（写真中央）と生徒代表の余田勇志さん（写真右）



真剣なまなざしで先生の話を聞く新1年生の児童

# まちかど とびっくす

植野記念美術館

## 来館者 50 万人を突破！



50万人目の記念品を手にする野村由美さん（写真中央）

平成 16 年 11 月にオープンした植野記念美術館の来館者が、3 月 16 日に 50 万人を突破しました。50 万人目となった丹波篠山市在住で切り絵作家の野村由美さんは「美術館の企画展にはほとんど参加しています。特にここで行われる美術展は楽しみにしており、芸術鑑賞のよりどころになっています。いつかこの場所で自身の切り絵展を開くのが夢であり、目標になっています」と話しました。

## 第9回ひょうごいいね！お店表彰地域連携部門で「エビスシネマ。」が大賞を受賞



表彰の盾と丹波国際映画祭のポスターを手に笑顔を見せる近兼拓史さん（写真左）

昨年 12 月に映画館「エビスシネマ。」が「第 9 回ひょうごいいね！お店表彰」地域連携部門の大賞を受賞し、4 月 3 日に市長を表敬訪問しました。丹波国際映画祭の開催や市民が撮影に参加する映画の制作など、地域を巻き込んだ町おこし活動が評価され、映画館としては初めての受賞です。

同館支配人で映画監督の近兼拓史さんは「映画を見る文化が根付いたまちをめざしてこれからもこの活動を続けていきたい」と話しました。

## 恐竜系ユーチューバー林大智さんと学ぶ 恐竜ワークショップを開催

3 月 16 日、化石工房ちーたんの館で恐竜の歯のレプリカを作りながら恐竜の特徴を学ぶワークショップが開催されました。ゲストには、恐竜系ユーチューバーとしてテレビなどでも活躍する林大智さんが登場し、恐竜について学ぶことや描くことの楽しさについて語るトークショーも行われました。

参加者は「恐竜の歯が上手に作れてうれしかった。林さんの恐竜の話も分かりやすかった」と話していました。



恐竜系ユーチューバーの林大智さん（写真左）と恐竜の歯のレプリカを作成する参加者

## 障がい者支援や地域貢献の功績を称え メルコパワーデバイス株式会社に感謝状

3 月 22 日、丹波市障害者雇用優良事業所感謝状贈呈式が行われ、メルコパワーデバイス株式会社に感謝状が贈呈されました。障がいのある従業員が安心して働き、仕事の成果を上げるために関係機関との連携や職場内でのコミュニケーションを深める取組などが評価されました。

井上雅仁副社長は「誰もがいきいきと働くことができる職場環境の実現に向けて取り組んできたことが評価され嬉しい」と喜びを語りました。



市長から感謝状を受け取る井上雅仁副社長（写真左）